

第3学年 社会科学習指導案

日時 平成24年11月1日(木) 4校時
児童 3年2組男20名 女14名 計34名
指導者 白間 勇 輔

研究課題

世界や友達とかかわる中で、自分の考えを深める子どもの育成を図る社会科授業
研究課題について(設定理由)

小学校社会科は、地域社会や我が国における人々の社会生活を広い視野からとらえ総合的に理解することを通して、公民的資質の基礎を養うことを究極的なねらいとしている教科である。

そのねらいに迫るために、授業において、まず、多様な考えをもつことができるような社会的事象(世界)との出会わせ方を工夫していく。次に、それらの様子や意味を理解するために、調べることや調べ方を明確にする。そして、多くの視点で社会的事象を深くとらえることができるように、他の子ども(友達)との交流を充実していく。

これらの手立てを講ずることで、自分自身の考えが深まり、社会的事象をより広い視野から、総合的に理解できるであろうと考え、本研究課題を設定した。

1 単元名

「見直そう わたしたちの買い物」(教育出版 小学社会 3・4上)

2 単元について

(1) 児童観

子どもたちの社会科に対する意欲は高く、積極的に気付いたことを発表したり、分からないことを質問したりする子どもが多い。子どもたちはこれまでに、「もっと知りたい みんなのまち」において、実際に学区の道路を歩いて調べたり、それらを友達と協力しながら地図に表したりする活動を通して、自分たちの住む学区を地図や記号に表すことのよさを感じ、学区の特徴についても概ね捉えることができている。一方で、見学活動や地図などの資料を通じて気付いた社会的事象を比較して考える力はまだ十分とは言いがたい。

本単元にかかわって子どもたちは、自分の地域に販売に関する仕事があり、それが自分たちの生活と結び付いていることには気付いている。子どもたちのほぼ全員が商店を利用した経験をもっており、その特徴もおおまかにつかんでいる。しかし、それぞれの商店が売り上げを高めるために、様々な工夫や努力をしていることや、消費者の買い物をする際の工夫、また、販売の仕事が様々な面で他地域と結び付いていることなどに気付いてはいない。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領第3学年および第4学年の内容(2)の「地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。」イ「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」を受けて設定されたものである。

本校の学区は、市の中央に位置しており、概して北側には住宅や田畑が広がるが、南側は商業地となっており、商業が盛んな地域である。地域には、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、専門店など多様な形態の商店があり、それぞれがニーズに合わせた品揃え、品質管理の徹底、チラシやコマーシャルによる宣伝など、消費者の信頼を得て販売を促進し、売り上げを高めるための工夫をしている。リサイクルボックスの設置、買い物袋持参の呼びかけなど、環境に配慮した工夫を行っている商店もある。

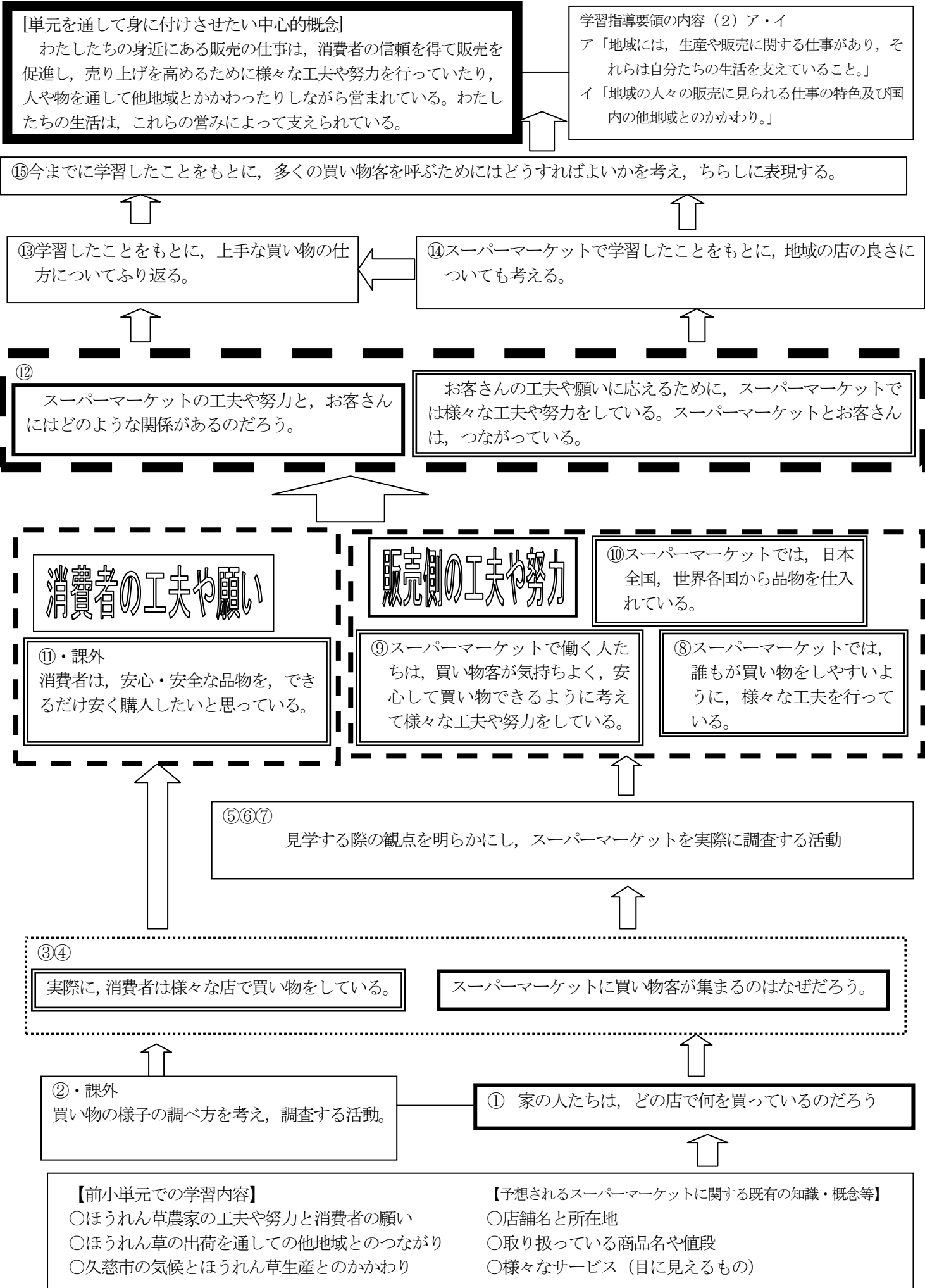
一方、消費者である地域の人々も、品質や価格、安全性などを考えて商品を購入するなど、工夫して消費生活を進めている。また、消費者のニーズに合わせて日本各地や他国で生産された品物を仕入れ販売していることや、他地域からの買い物客が学区の商店に来ていることなどから、販売の仕事は、様々な面で他地域と結び付いているといえる。

(3) 指導観

本単元では、子どもたちが販売側の工夫や努力についてより深く追究することができるように、調査や見学など具体的な活動を通して、子どもたちがスーパーマーケットを中心とした商店の販売の様子や地域の人々の消費活動の様子、消費生活を通じた他地域とのかかわりについて、主体的に調べられるようにしていく。

学級での買い物調べの結果から生まれた「なぜスーパーマーケットにはたくさんの人が買い物に来るのか。」という疑問をもとに、スーパーマーケットの見学を行い、そこで行われている工夫や努力をとらえさせる。また、実際に働いている人の話から、それらが買い物客のことを考えて行われていることを実感させるようにしていく。さらに、身近な消費者である自分たちの家族が、どんなことに気を付けながら買い物をしているか調査することで、消費者側の工夫や願いと販売側の工夫や努力をつなげて考えさせていく。これらの活動を通して、子どもたちに、社会的事象を比較したり、関連付けたり、総合的にとらえたりする力を育てていきたい。

3 構造図 (○の中の数字は、指導時数)



【単元を通して身に付けさせたい中心的概念】

わたしたちの身近にある販売の仕事は、消費者の信頼を得て販売を促進し、売り上げを高めるために様々な工夫や努力を行っていたり、人や物を通して他地域とかかわったりしながら営まれている。わたしたちの生活は、これらの営みによって支えられている。

学習指導要領の内容(2)ア・イ

ア「地域には、生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。」
イ「地域の人々の販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域とのかかわり。」

⑮今までに学習したことをもとに、多くの買い物客を呼ぶためにはどうすればよいかを考え、ちらしに表現する。

⑬学習したことをもとに、上手な買い物の仕方についてふり返る。

⑭スーパーマーケットで学習したことをもとに、地域の店の良さについても考える。

⑫ スーパーマーケットの工夫や努力と、お客さんにはどのような関係があるのだろう。

お客さんの工夫や願いに応えるために、スーパーマーケットでは様々な工夫や努力をしている。スーパーマーケットとお客さんは、つながっている。

消費側の工夫や願い

⑪・課外
消費者は、安心・安全な品物を、できるだけ安く購入したいと思っている。

販売側の工夫や努力

⑨スーパーマーケットで働く人たちは、買い物客が気持ちよく、安心して買い物できるように考えて様々な工夫や努力をしている。

⑩スーパーマーケットでは、日本全国、世界各国から品物を仕入れている。

⑧スーパーマーケットでは、誰もが買い物をしやすいように、様々な工夫を行っている。

⑤⑥⑦
見学する際の観点を明らかにし、スーパーマーケットを実際に調査する活動

③④
実際に、消費者は様々な店で買い物をしている。

スーパーマーケットに買い物客が集まるのはなぜだろう。

②・課外
買い物の様子の調べ方を考え、調査する活動。

① 家の人たちは、どの店で何を買っているのだろう

【前小単元での学習内容】

- ほうれん草農家の工夫や努力と消費者の願い
- ほうれん草の出荷を通しての他地域とのかかわり
- 久慈市の気候とほうれん草生産とのかかわり

【予想されるスーパーマーケットに関する既有的知識・概念等】

- 店舗名と所在地
- 取り扱っている商品名や値段
- 様々なサービス (目に見えるもの)

4 本時の指導

(1) 目標

スーパーマーケットで販売されている商品が、国内外の他地域から運ばれてきていることを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の留意点 ◇評価	資料
導入	<p>1 スーパーマーケットには、たくさんの種類の品物があったことを確認する。</p> <p>2 魚売り場には、どのような魚があったのかを確認し、それらがどこから仕入れられているのかを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●久慈には海があるから、ほとんどの魚が久慈でとれたものだと思う。 ●ノルウェーって文字があったような。外国からも仕入れられているんじゃないかな。 ●あれ、久慈でとれない魚もあるぞ。 ●久慈でとれている魚以外は、他の所から仕入れられているのかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に発表させ、多くの品物について発言できるようにする。 ・寿司や釣り、給食の献立などの話題から、海のある久慈市で魚がとれることや、様々な種類の魚があることを再確認し、魚売り場の様子を調べることに興味関心をもてるようにする。 ・魚売り場の写真から、様々な種類の魚があることを確かめる。 ・漁師の方へのインタビューを提示、スーパーマーケットにある魚の種類と比較することにより、地元でとれたもの以外の魚は、どこからきているのか、問題意識をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の献立 (実物) ・魚売り場の様子 (写真) ・スーパーマーケットにある魚 (紙板書) ・漁師の方へのインタビュー (紙板書)
8分	<p>3 学習問題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">スーパーマーケットの魚は、どこからはこばれてきているのだろう。</p>		
展開	<p>4 産地の調べ方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実際にスーパーに行って調べる。 ●買ってきて調べる。 ●チラシで調べる。 <p>5 実際に写真を見ながら、産地について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サンマは北海道産。 ●ししゃもはノルウェー産。 ●久慈でとれた魚もあるよ。 <p>6 白地図に産地を示し、他地域や他国といった広い範囲から仕入れられていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本各地や、外国からも仕入れられているんだね。 ●いろんなところとつながっているな。 <p>7 魚の場合と比較関連しながら他の品物の仕入先の分布についても知り、これらも広い範囲から仕入れられていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●魚だけでなく、様々な種類の品物が、色々な所から仕入れられているね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようにしたら調べられるかを話し合うことにより、調査活動への意欲をもてるようにする。 ・産地を調べる手がかりとなるポップや表示について、気付くようにする。 ・パノラマ写真をもとに、様々な地域から魚が運ばれていることに気付くことができるようにする。 ・自分たちの住む地域と産地をつなぎ、他地域とのつながりを視覚的にとらえやすいようにする。 ・導入部分で出てきた魚以外の品物(野菜、肉)について、仕入先を予想させる。 ・魚の仕入先を示した白地図に野菜、肉の仕入先を示したものを重ねることにより、共通点について視覚的に理解できるようにする。 ・他の品物についても、外国から仕入れられているものがあることを写真で紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇スーパーマーケットで販売されている商品が、国内外の他地域から運ばれてきていることを、実際に調査し、表や白地図にまとめる活動を通して理解し、表現することができる。 (発言・ノート)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・魚売り場の様子 (パノラマ写真) ・ワークシート (産地を調べる) ・白地図 (黒板掲示) ・野菜、肉の仕入先 (OHPシート) ・写真(お菓子・カップラーメンなど)
30分			
終末7分	<p>8 本時の学習をふり返り、自分の考えをまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">(例) スーパーマーケットの品物は、○○県や■■国など、色々なところからはこばれてきている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーの様々な品物が、様々な地域から仕入れられていることを、調べて分かったことをもとにまとめられるようにする。 	